

下元佳子氏特別講演会 2019. 4. 28開催アンケート結果

参加者90人中 アンケート回収64人

	所属	管理者 役職	職 種	感 想	抱え上げない看護・介護について
1	病院		介護職	分かりやすく聞きやすい講演会でした。	自分達自身の体も気をつけていく。これからの介護を考えさせられました。自分ノーリフトへのケアの仕方など、病院でもできたらなと思いました。
2	病院		-	私たちの職場は、まだまだ…だと感じました。とても分かりやすく、あっという間の講演でした。	毎日、時間に追われ、重たい方でも抱え上げているのが現状です。人材不足の中でも仕事量が増え、業務改善が少しでも見直ししてもらえればよいと思いました。
3	病院		リハ職	高知県での取り組みや医療介護だけでなく行政においても、どう介入しているか聞くことができよかった。	
4	病院		介護職	リスクマネジメントの重要だと認識出来た。	リスクマネジメントの取り組みが最優先だと思いました。
5	病院	管理者	介護職	日本の国の背景を踏まえノーリフティングの問題ではなく、危機感を持って医療、保健、福祉を考えなければならないということを知りやすくお話しいただきました。自施設、所在地も人口減、高齢化率37%で、生産人口も減少している厳しい地域なので、下元先生の講義をわが身に置き換えて聞くことができました。私自身、常々同様の事を話していますが、スタッフはわかってくれているのか、自分の病院だけが、このような状況ではないかと思っているのではと感じる事もあります。できるだけたくさんの職員に先生の講義を聴かせたいと思いました。	人に関わるけあだけではない、環境においてもノーリフトと話され目からウロコです。抱え上げない看護・介護の技術を習得するという問題ではなく、今後の日本の国の方向性やあり方等とても奥深いと考えさせられました。色々なヒントをいただきましたので、組織に帰り早速出来る事から取り組みます。ありがとうございました。
6	病院		リハ職	現在働いている病院でも少しずつノーリフティングが浸透してきているような印象はありますが、実践まではまだまだな所です。今日聞いた抱え上げる事が患者さんにとってどれだけ害になるかももう一度自分でも考えて院内のスタッフにも伝達していこうと思います。	
7	病院	技師長	リハ職	問題点の再認識とこれから自分がしなくてはならない事が明確になってきた。	自分がしっかり伝えられるレベルまでスキルアップする事。職域、職場で広めていく仕組みづくりをする事。
8	病院		看護職	目的をしっかりと明確にして、リスクを考え、マネジメントすることの大切さがわかりました。予防の視点を自部署におきかえ考えていきたいと思っています。	環境を考えられる知識や視点も大切だと感じました。介護する人も、介護される人、どちらの立場に立って考え実践につなげたいと思いました。
9	病院		リハ職	組織の事、地域の事として、もっと周りを巻き込まないといけない。チームで組織ぐるみで地域ぐるみでやらないといけないと強く感じました。	実践しているから浸透しているに早く切り替えないといけないなと思いました。説明できる人も増やす必要がある。
10	病院		介護職	いろいろな話が聞けて良かったと思いました。問題点やその対策だったり、ノーリフトの大事さがわかりました。ノーリフトは職場だけではなく、日常でも取り組めることがわかりました。	抱え上げない介護は、介護をする方、される方のためになる事なので、これからも取り組んでいきたいと思っています。
11	病院		看護職	技術や知識だけではなく、根本の考え方や取り組みなどとても刺激・学びになりました。	

12	病院	主任	看護職	とてもわかり易く、現場に近い話が聞けて良かったです。	管理職として、職員を守る方法の一つと考え、真剣に取り組みたいです。
13	病院		看護職	まだまだ取り入れられないが、必要だということはわかっているので、持ち帰り、取入れの方法を探していきたいと思った。	
14	介護の施設・通所など		リハ職	今の職場に就職して5年、リハ職⇒介護職、看護職に（抱え上げない介護について）一緒に考え、動かしてくれる人が増えてきています。講演会で学んだ内容を整理し、計画を考えなおしながら進めていきます。ありがとうございました。	
15	介護の施設・通所など		リハ職	本日の講演会を聴講させていただき、自分の住む地域、または職場として携わっている地域の事を知ることが大切だと感じました。また、個人ではなく、チームとしてしっかりしたアセスメントを行う事、職員の皆さんへ伝えていくこと。一つ一つの見直しをしていくことが大切であり、今からでも実践していきたいと感じました。	地域・他職種、皆でスキルアップしていきたいと思います。
16	介護の施設・通所など		リハ職	「ノーリフティング」について深く考えさせられました。抱え上げない、力任せにしないと思っていましたが、自身（介護者）の体を守り、利用者さんの身体・心も守る事になると改めて勉強しました。考え方を持ち帰って、仕事場でもひろめて行きたいと思います。又、リフトに対して不安なスタッフもいます。スタッフの気持ちをくみながらやっていかないといけないと考えさせられました。	個人のスキルアップだけでなく、組織から変えていきたいと思いました。本日は講演ありがとうございました。
17	介護の施設・通所など		看護職	人口減少していく中で、良い介護を続けていくためには、組織や地域全体を見て取り組んでいく必要性があるということを切実に感じた。自分の職場での取り組みもまだ全然できていない中、どうして行ったらよいのだろうか・・・と悩ましい思いだが、まずは自分がブレずに周りや上司に伝えていくことが大切だと思う。説得力のあるデータを示したりも必要だと思った。	
18	介護の施設・通所など		—	地域のこと、地域や自分たちの課題を他人事ではなく、自分のこととして認識することが大切だと知り、これまで見てこなかったと考えさせられた。個人でがんばるだけでなく、周囲と協力しながら進めていくことで、双方にメリットが出てくるのだと知った。	学ぶだけでなく、周囲と問題点を出し合ったり、共有して対策を考え、実行していくことが大切だと思った。
19	介護の施設・通所など	ユニットリーダー	介護職	講演の中で具体的に数値が出ていてとても分かりやすかったです。また、ノーリフティングについて初めは説明できない・・・と思っていましたが、終了後は少しですが説明できるようになったかなと思いました。	入居者様スタッフが安心安全にケアする、されるためにとても必要なものだと改めて感じました。もっと浸透できるように自分自身説得できる人になれるように頑張っていきたいと思いました。
20	介護の施設・通所など		リハ職	人材不足は身近に感じているので、今後、方向性一つが見えてきた気がします。	マネジメント、重要性がはっきりわかっているのですが、方法など研修会があると助かります。
21	介護の施設・通所など		介護職	実際に今抱えない介護の委員会に入り活動しているのでここからどういう風にすすめていけばいいのか分かった。	

22	介護の施設・通所など		看護職	新しい職場がよく分かりませんが、今日聴講したことをノーリフティングを実践していきたいと思います。自分自身、腰痛がたまにありますので、生かして行きたい。リスクマネジメントの大切さを理解できました。	抱え上げる時も、介護する時も相手に自分を置き換えていきたいと思います。
23	介護の施設・通所など		代表取締役	なぜノーリフトが大事なのか？という事が、今までは実際の現場だけでの話で理解をしていたが、地域、社会、国などのレベルで大事、必要なのだという事が理解できた。今日の講演でノーリフトの重要性を新たに認識できた。ノーリフトのみでなく、仕事に対しての見方を考える良い機会を頂けました。ありがとうございました。	ノーリフトを実践している施設で、忙しい時間帯の朝もゆったりできているという話が印象に残りました。今まではノーリフトだと今までの方法（ノーリフトではない）時間がかかってしまうイメージであったのが、くつがえされて印象的でした。
24	介護の施設・通所など		リハ職	リスクマネジメントについて、もっと勉強してまた、現状についてももしっかり把握していきたいと思いました。	
25	介護の施設・通所など		福祉用具専門相談員	いかに自分が日本、自分の地域の現状が分かっていないのかが分かった。自分がどんな立場に置かれていて、何をしていくべきなのかを考えていきたい。	現在、自分自身はノーリフティングケアを行っているか、どうしたら自分の関わっている現場におとしこんでいけるのかを考えていきたい。
26	介護の施設・通所など	介護主任	介護職	自施設で今後どのような対策を行う必要があるか見えてきた。今の課題に対してとりくんでいきたい。	抱え上げない介護はこれからの介護に必要なスキルと感じているのでひろめていきたい。
27	介護の施設・通所など		介護職	今の自分の職場で何をすべきか、良く考え直さないといけないと思いました。	深い。自分の考え方や方向性を改めて考え直します。
28	介護の施設・通所など		介護職	計画的に実施していかないと意味がないんだと思った。少しでもやらないよりやった方がいいので、取り組んでいきたいと思います。	
29	介護の施設・通所など		—	目的を持つことの大切さを感じました。又、新たな気持ちで取り組みます。	
30	介護の施設・通所など		リハ職	自分の地域をもう一度確認します。腰痛アンケートを取りたいと思ってはいましたが、内容は明確に決まっていない状態でした。目的をしっかり持ち、自分の会社の問題点などみる、まとめる事も大切だと思いました。	自分はシートなど使っているけど、浸透していないです。
31	介護の施設・通所など	特養責任者	ケアマネ	参考になり改めて必要な事であると認識できた。	人がいないと言い訳が出ないように業務改革を行いたいと思う。職員へしっかり説明し、理解を得て行っていきたいと思う。
32	介護の施設・通所など		リハ職	具体的な取り組みなど、参考になる事がたくさんあり、施設でも取り組んでいきたいと思います。	お互いにとって良い方向に向かえるよう取り組んでいきたいと思います。
33	介護の施設・通所など	通所リハビリ管理者	看護職	国の動き、これからの介護施設の問題が少し理解できました。現場をもう一回見直したいと思いました。ありがとうございました。	
34	介護の施設・通所など		リハ職	ノーリフトケアへの理解を深める事ができました。今日の学びを現場で活かせる様努めていきます。	
35	介護の施設・通所など		リハ職	リスクマネジメントの視点かつノーリフティングを考える事ができました。	職場としても取り組みたい

36	介護の施設・通所など		介護職	ノーリフティングケアが技術だけでなく、介護に関わる他の問題に対しても取り組む必要性を少し理解しました。	一人で行うには限界あり、どう伝えるべきかを理解していきたい。
37	介護の施設・通所など	主任	リハ職	下元先生の講義は何度も聴講しておりますが、毎回心にひびく内容です。そして、いつも私（自分）に何が出来るか？自問自答するのですが、最近は仲間作りが大事なのだと感じています。すごく参考にさせて頂いています。ありがとうございました。	少しずつ職場や地域に浸透させていきたいと思えます。
38	介護の施設・通所など		介護職	ノーリフティングケアを導入するためにリハ職内で動いている所です。グローブやシート、リフトをまずはリハが使用し、介護職の反応を見えています。機会を使用するということで、苦手意識を持ってしまう人が多くいますが、何のためにおこなっていくのか？というところを伝え、意識を変えていくことが大切だと改めて感じました。もう一度自分たちで再確認して現場に伝えていきたいと思えます。「きずき」という部分もしっかり持って、明日から取り組んでいきます。ありがとうございました。	
39	介護の施設・通所など		リハ職	個々ではなく組織全体で動く必要性を改めて学び事ができた。	自分も利用者もともに負担にならないケアができるよう今後も技術の検討をしていきたい。
40	介護の施設・通所など		介護職	帰ってすぐに取り組みたいことが明確になりました。何となく考えていたことですが、まずは労基に行ってお墨付きをもらい、社協を巻き込んで地域での研修会をカリキュラムを組んで実行していきたいです。	「あたりまえ」です（笑）
41	介護の施設・通所など	管理職主任	介護職	いつも勉強になる事ばかりで、今回、先に進むやり方が見えてきた講演内容だったと感じました。ただ、それを自分がそこまでできるかは不安ですが、一歩前に出ればと思えます。	ノーリフティング、特に病院で腰を曲げない取り組みびっくりしました。そこまで考えられるようになりたいです。
42	介護の施設・通所など		福祉用具専門相談員、リハ職	現在事業計画にも取り組みをのせて実施をスタートさせることになりました。手さぐりで何年後までにどういう姿にするかまでははっきりしません。しかし、今年1年は腰痛者の減少と、外傷件数低下を目標に実施します。その中で、調査は正しかったか、委員会は何をやるの点にヒントを得られました。	
43	介護の施設・通所など	主任	介護職	自分たちの考える事、やるべきことが確認でき、どう今後動いていくか理解できた。	これからの福祉に対して必ず必要になる事と思う。少しずつ長くやっていきたいと思えます。
44	介護の施設・通所など		リハ職	リスクマネジメント。組織作り。ノーリフティングケア。どんなことにも「何のために」（目的）が大事。マネジメントが大切。	まだまだ自分の組織で不十分なノーリフティングケア。PDCAサイクルをまわし続けます。
45	介護の施設・通所など		リハ職	個人のスキルアップで満足する時は過ぎ、組織へ働きかける時期になっていると感じた。全然未熟で何の力もないが、どうにか探したい。抱え上げない介護について市役所に問い合わせたが「頑張ってください」と返答され、自分自信持てなく太刀打ちできなかった。	色々なところでいろいろ言う人もいることを知った。でも、間違いのないものであると確信を持つことが再度できた。

46	介護の施設・通所など		リハ職	ノーリフトの目的とどう進めていくのか。高齢化社会の中で将来どのようなことが予測され、それは他人事ではなく働く人やケアを受ける方々の健康を守るために今から考えていかないといけないという事が非常に伝わりました。技術育成とマネジメント。調査委を組織的に進めていくことは大事ですが、どう、どこから行うのが課題だと思いました。	自分の技術が発展途上なので、まだ、消化不良な面もありますが、伝える努力はしていきたいと思います。
47	介護の施設・通所など	科長	リハ職	日々の活動を見直し、しっかり復習ができました。原点に帰って、考え直したいと思いました。	自分の組織に、職員も利用者も守りたい・・気持ちをしっかり伝えて活動しなおして行きたい。
48	介護の施設・通所など		リハ職	ノーリフトケアの技術や目的だけでなく、今後求められることなど広い視野で物事を考える良い機会となりました。	
49	介護の施設・通所など	介護部副主任	リハ職	技術だけでなく伝えるためのマネジメントの大切さを改めて感じました。	
50	介護の施設・通所など		リハ職	色々な情報や取り組みがupdateされていて興味深く受講できた。	
51	介護の施設・通所など	主任	介護職	10年、20年と先の事を踏まえ、今ノーリフトケアに取り組んでいることに感謝の思いです。自分の施設での取り組み以外にも地域で取り組みの輪を広げたい。	
52	その他	所長	福祉用具専門相談員	自分が課題と考えている部分が、少し解決できた。考えているすすめ方では難しそうですので、修正していきます。発信することと、自らの施設へ根付かせることの役割が違うと思うので、少しずつ自分の出来る事を行っていきます。	どんなに良い技術でも心のスイッチが入るか入らないかが大事ですので、その部分をもっとブラッシュアップしていきます。
53	その他		リハ職	大変参考になりました。また元気が出ました。明日から活動に役立てます。	一にも早く施設病院に普及
54	その他		リハ職	今後必要とされること、時代（少子高齢化）に沿った動きが必要な事が分かりました。	
55	その他		在宅関係者	ノーリフティングは、介護する側の腰痛予防、介護される側の安全性、状態悪化予防だと少し軽く考えていたように思います。これからの人口減少に伴う、介護のありかたに関わってくるものだと気づきました。そして地域の色々な状態を把握しておかなければ！と感じました。	在宅介護者ですので、私の周りの同じ境遇の方達へ広めていきたいと思っています。
56	その他		リハ職	ノーリフティングについて浸透し、実践していかなければならない事を重く感じました。	自分の腰痛、利用者さんのことを考え、まず、一步を活動していきたいと思います。
57	その他		ケアマネ	ノーリフティングは、利用者様への身体への負担、不安の軽減、介護者の腰痛予防になっていると改めて再認識できました。	何の為にノーリフティングで対応するのか、利用者様にも正しく説明できるスキルを身につけなければと思いました。
58	その他		看護職	分かりやすくとても理解できました。	今後のケアにぜひ役立てたいと思いました。ありがとうございました。
59	その他	個人事業	リハ職	とても参考になりました。マネジメント大切です。	もっと広めないと思いました。腰痛になる職場づくりはしたくないです。
60	その他		ケアマネ	抱え上げない介護をどう皆に伝えていくか、迷ったり、伝えられなくて少し落ち込んだりもしましたが、今日の講義で伝え方をまた見直そうと思いました。	抱え上げない看護、介護が職場内でも少しずつ実践され始めました。今までのことを考えると、ようやくではある一方、よく分かっているとも思います。全職員に理解してもらうまでに、まだまだ時間はかかると思いますが、「もう時間がない」との思いでみなさんに伝えていきたいと思っています。

61	その他		ケアマネ	ノーリフトケアが人材不足解消とつながっていると改めて知りました。今後は個人のスキルだけではなく、組織に働きかけていかなければならないと強く感じました。頑張ります。ありがとうございました。	抱え上げないケアが普通のケアになる様にこれからも頑張っていこうと思います。
62	その他		福祉用具専門相談員	高知での取り組みや、下元先生の考えが聞けて、とても参考になりました。	少しずつ広めていきたい。
63	その他	エリア長	福祉用具専門相談員	大変学びを頂ける内容でありありがとうございました。私自身としては組織内の体制など、変えていきたいことは多くありますが、何を大切にして、何を残すか、ジレンマもありますが、もう少し大きな視点で考える必要があるかと思いました。精進します。ありがとうございました。	これからも引き続き、推し進めていきます。
64	その他		在宅関係者	介護職のイメージがどんどん下がっていることが人材不足と考えていたが、加えて人口減少という大問題に気が付き、時間余裕がないと。	